

少子高齢化・共生社会に関する調査会

委員一覧 (25名)

会長	田名部 匡省 (民主)	植松 恵美子 (民主)	塚田 一郎 (自民)
理事	岡崎 トミ子 (民主)	大河原 雅子 (民主)	古川 俊治 (自民)
理事	木俣 佳文 (民主)	大久保 潔重 (民主)	丸川 珠代 (自民)
理事	前川 清成 (民主)	津田 弥太郎 (民主)	義家 弘介 (自民)
理事	有村 治子 (自民)	藤谷 光信 (民主)	山本 博司 (公明)
理事	南野 知恵子 (自民)	蓮 舫 (民主)	紙 智子 (共産)
理事	鰐淵 洋子 (公明)	石井 みどり (自民)	福島 みずほ (社民)
	相原 久美子 (民主)	磯崎 陽輔 (自民)	
	岩本 司 (民主)	坂本 由紀子 (自民)	(19.10.5 現在)

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、少子高齢化・共生社会に関し長期的かつ総合的な調査を行うため、今期第168回国会の平成19年10月5日に設置された。本調査会の調査課題は広範囲にわたることから、理事懇談会等で協議を重ねた結果、まず、家族・地域の絆を強めるための方策、外国人との共生等の観点から、コミュニティの再生について、政府から説明を聴取することとした。

今国会においては、平成19年11月7日、コミュニティの再生について、中川内閣府副大臣、谷口総務副大臣、河井法務副大臣、池坊文部科学副大臣及び岸厚生労働副大臣から説明を聴取した後、同日及び11月21日に質疑を行った。

〔調査の概要〕

11月7日の調査会では、政府から説明を聴取した後、①「家族の日」を11月第3日曜日とした理由、②ICT（情報通信技術）の地域における活用事例、③新しい外国人の在留管理制度の在り方、④公立学校における外国人の子弟教育の現状及び教員加配の必要性、⑤母子家庭の自立支援策として経済的支援よりも就業支援を重視することの是非等について質疑を行った。

11月21日の調査会では、前回に引き続き、①障害者権利条約を踏まえた各省の取組状況、②子ども農山漁村交流プロジェクトの重要性、③医療通訳確保のためのガイドライン及び予算措置等の必要性、④盲・聾・養護学校が特別支援学校として一本化されるに当たっての各自治体の対応、⑤卒業後我が国で就労を希望する外国人留学生に対する支援等の取組状況等について質疑を行った。

(2) 調査会経過

○平成19年10月5日(金)(第1回)

- 調査会長を選任した後、理事を選任した。

○平成19年11月7日(水)(第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- コミュニティの再生について中川内閣府副大臣、谷口総務副大臣、河井法務副大臣、池坊文部科学副大臣及び岸厚生労働副大臣から説明を聴いた後、中川内閣府副大臣、河井法務副大臣、池坊文部科学副大臣、谷口総務副大臣、岸厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕木俣佳丈君(民主)、義家弘介君(自民)、山本博司君(公明)、紙智子君(共産)、澁上貞雄君(社民)、前川清成君(民主)、石井みどり君(自民)

○平成19年11月21日(水)(第3回)

- コミュニティの再生について池坊文部科学副大臣、岸厚生労働副大臣、谷口総務副大臣、河井法務副大臣、中川内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕岡崎トミ子君(民主)、坂本由紀子君(自民)、鰐淵洋子君(公明)、紙智子君(共産)、福島みずほ君(社民)、植松恵美子君(民主)、丸川珠代君(自民)、相原久美子君(民主)、礪崎陽輔君(自民)、大河原雅子君(民主)、有村治子君(自民)